

平成31年(2019年)7月期 第2四半期決算概要

サムコ 株式会社

証券コード: 6387



お陰様で設立40周年を迎えました

40th
Anniversary
samco
1979 - 2019



株式会社サムコインターナショナル研究所からサムコ株式会社へ社名変更。

上海事務所を開設。2004

生産技術研究棟を完成。2002

台湾事務所を開設。

日本証券業協会店頭市場(ジャスダック)に上場。2001

1998 量産用ICPエッチング装置RIE-101iPCを開発。

1997 セミ量産用ICPエッチング装置RIE-200iPを開発。

1995 RIE装置RIE-10NRを開発。

東海営業所、つくば営業所を開設。1993

研究開発センター、第2工場を完成。1991

1990 液体ソース®CVD装置PD-240を開発。

シリコンバレーにオプトフィルムズ研究所を開設。1987

新社屋完成により、本社を移転。1985

東京営業所を開設。1984

1982 マルチチャンバーシステム®PDM-303を開発。

1981 化合物半導体製造用MOCVD装置を開発。

1980 半導体プロセス用I大型CVD装置を開発。

1979 株式会社サムコインターナショナル研究所を設立。創業者の仕様が京都市伏見区のカレーで創業。

マレーシア事務所を開設。

第二生産技術棟を完成。2016 Aqua Plasma®クリーナーAQ-2000を開発。

東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定。2014

東京証券取引所市場第二部へ上場市場を変更。2013 量産用ICPエッチング装置RIE-600iPC、RIE-800iPBCを開発。

2012 SiCパワーデバイス用ICPエッチング装置RIE-600iPを開発。

シンガポール支店を開設。2011

アメリカ東部事務所、北京事務所を開設。2010

韓国事務所、台湾サムコグローバルサービスを開発。2008 LED量産用ICPエッチング装置RIE-330iPCを開発。

2006 MEMS用高速Siディープエッチング装置RIE-800iPBを開発。

2003 化合物半導体デバイス量産用プラズマCVD装置PD-220LCを開発。



化合物半導体デバイス用
ICPエッチング装置
RIE-200iPN

40年で、
4000台の装置が、
30カ国に納品されました。



1. 19/7月期第2Qの実績

19/7月期第2Q 実績報告

(単位:百万円)

		18/7期2Q	19/7期2Q	前年同期比増減率
売上高	Net Sales	2,053	2,772	35.0 %
売上総利益	Gross Profit	1,003	1,251	24.7 %
売上高総利益率	Gross Profit Ratio	48.9 %	45.2 %	—
営業利益	Operating Profit	77	281	263.8 %
営業利益率	Operating Profit Ratio	3.8 %	10.2 %	—
経常利益	Ordinary Profit	72	262	262.0 %
当期純利益	Net Income	48	185	279.2 %

➤ エッチング装置のLD向けの販売が牽引役となり、売上高は2,772百万円。

19/7月期第2Q 装置別売上高

(単位:百万円)

	18/7月期2Q		19/7月期2Q		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
CVD装置	331	16.1 %	240	8.7 %	△ 27.3 %
エッチング装置	1,205	58.7 %	1,755	63.3 %	45.6 %
洗浄装置	207	10.1 %	311	11.2 %	50.2 %
部品・メンテナンス	309	15.1 %	464	16.8 %	50.2 %
Total	2,053	100.0%	2,772	100.0%	35.0 %

- エッチング装置では、オプトエレクトロニクス分野向けの販売が前年同期比79.1%増の739百万円、電子部品分野が65.6%増の667百万円。
- 洗浄装置では、実装・表面処理分野向けの販売が前年同期比63.8%増の120百万円、オプトエレクトロニクス分野が27.1%増の104百万円。

19/7月期第2Q 分野別売上高

(単位:百万円)

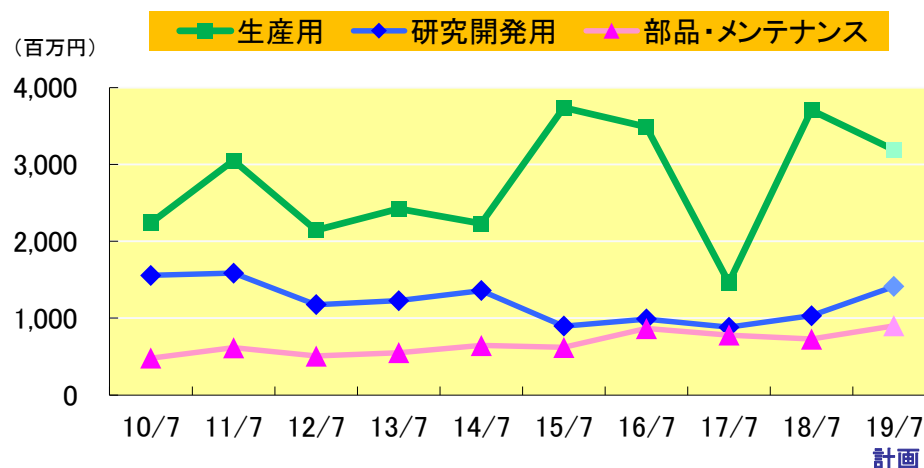
	18/7月期2Q		19/7月期2Q		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
オプトエレクトロニクス分野	749	36.5 %	969	35.0 %	29.3 %
電子部品・MEMS分野	454	22.1 %	811	29.3 %	78.5 %
シリコン分野	202	9.9 %	211	7.6 %	4.4 %
実装・表面処理分野	260	12.7 %	142	5.1 %	△ 45.2 %
表示デバイス分野	—	0.0 %	—	0.0 %	—
その他分野	77	3.7 %	172	6.2 %	124.4 %
部品・メンテナンス	309	15.1 %	464	16.8 %	50.2 %
Total	2,053	100.0%	2,772	100.0%	35.0 %

- 電子部品・MEMS分野では、高周波フィルタ、パワーデバイス、高周波デバイス、センサ向けの販売が堅調に推移。

19/7月期第2Q 用途別売上高

(単位: 百万円)

	18/7月期2Q		19/7月期2Q		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
生産用	1,316	64.1 %	1,546	55.8 %	17.4 %
研究開発用	427	20.8 %	761	27.4 %	78.1 %
部品・メンテナンス	309	15.1 %	464	16.8 %	50.2 %
Total	2,053	100.0%	2,772	100.0%	35.0 %

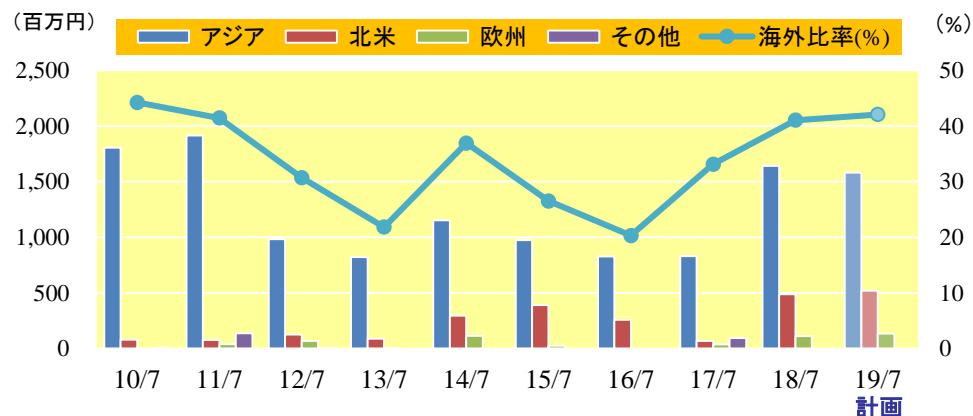


➤ 研究開発用では、電子部品・MEMS分野向けの販売が前年同期比205.8%増の363百万円。

19/7月期第2Q 地域別売上高

(単位:百万円)

	18/7月期2Q		19/7月期2Q		前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
国内	1,368	66.7 %	1,851	66.8 %	35.3 %
アジア	623	30.4 %	456	16.5 %	△ 26.7 %
北米	33	1.6 %	374	13.5 %	1,031.8 %
欧州	27	1.3 %	89	3.2 %	221.8 %
(海外合計)	684	33.3 %	920	33.2 %	34.5 %
Total	2,053	100.0%	2,772	100.0%	35.0 %



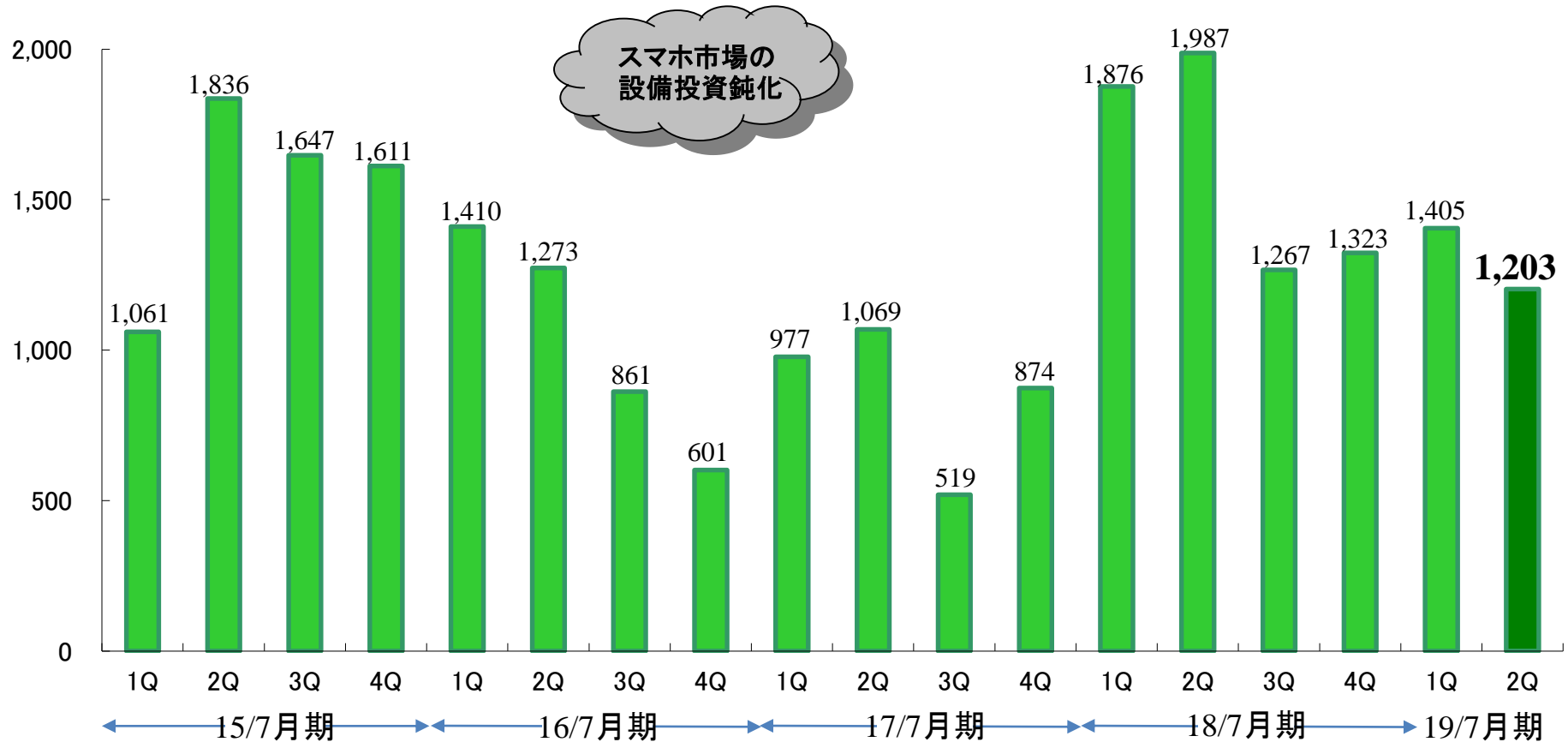
➤ 海外は、各地域でバランスよく成長。

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

受注環境(受注高)の変化

(単位: 百万円)

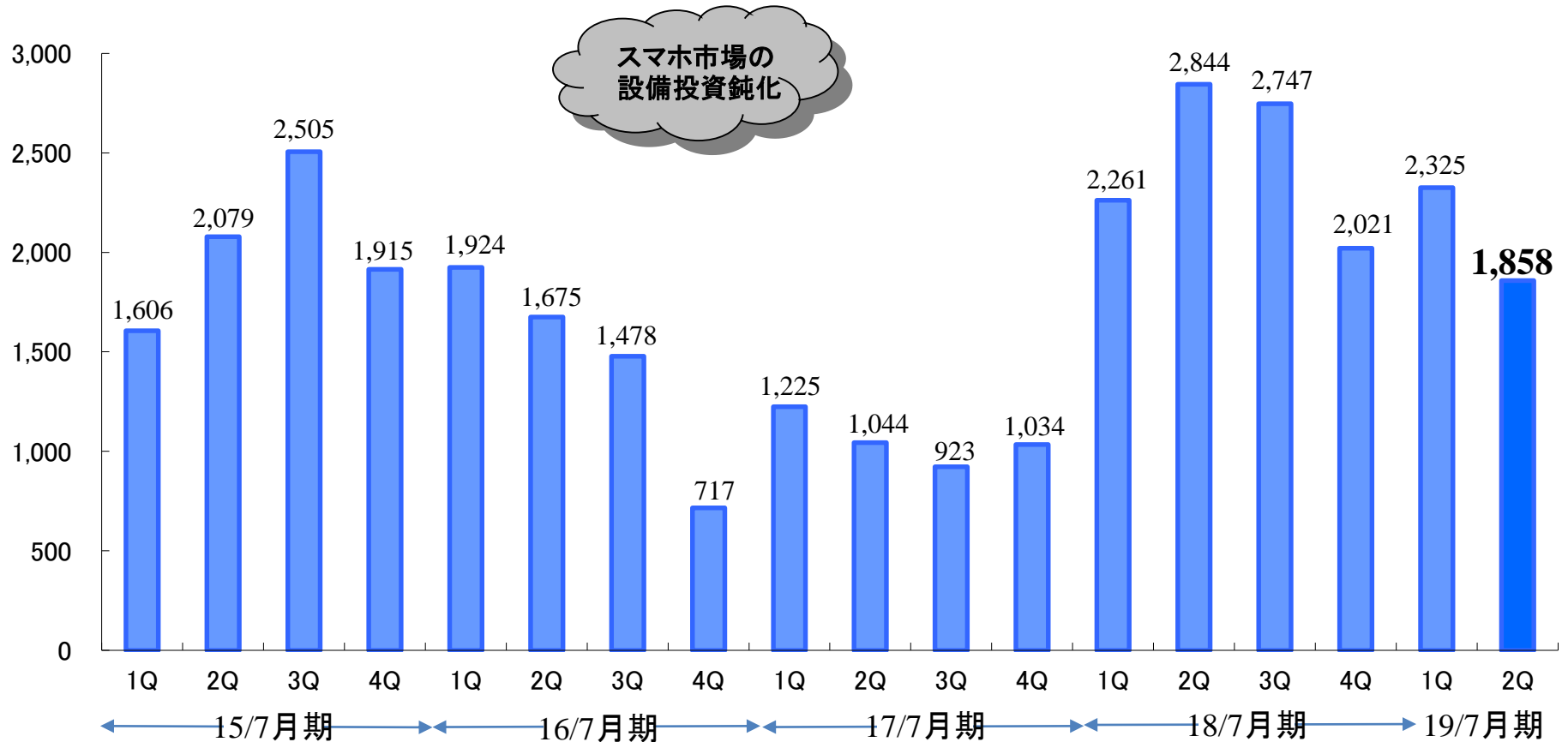


本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を無断で行わないようお願い申し上げます。

受注環境(受注残)の変化

(単位: 百万円)



本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を行わないようお願い申し上げます。

19/7月期下期の見通し

19/7期上期

スマホ市場の需要低迷及び中国経済の減速により、当社の主要取引先である電子部品メーカーの設備投資意欲が一時的に低下

受注高：前年同期比32.5%減の2,608百万円



- 車載用電子部品や次世代パワーデバイス向け装置の拡販。
- VCSELを含む通信用LD向け装置の拡販。
- 新製品 アクアプラズマ“AQ-2000”の拡販。



19/7月期 目標55億円に修正

19/7月期の修正目標数値

(単位: 百万円)

	17/7月期 実績	18/7月期 実績	19/7月期 修正目標		
			上半期 実績	下半期 計画	通期 計画
売上高	3,124	5,466	2,772	2,728	5,500
売上総利益	1,442	2,596	1,251	1,269	2,520
営業利益	△ 279	638	281	259	540
経常利益	△ 214	642	262	268	530
当期純利益	△ 265	407	185	165	350
海外売上高比率	33.1 %	41.0 %			40.6 %
R O E	△ 3.2 %	5.0 %			4.2 %

19/7月期の重点課題

I 海外販売の拡大

- ◆42期 売上高比率50% (41億円)に向けての営業、サービス体制の構築
- ◆海外要員の確保、教育研修体制の整備
- ◆各種営業ツールの整備

II 新規事業の立上げ(ヘルスケア事業)

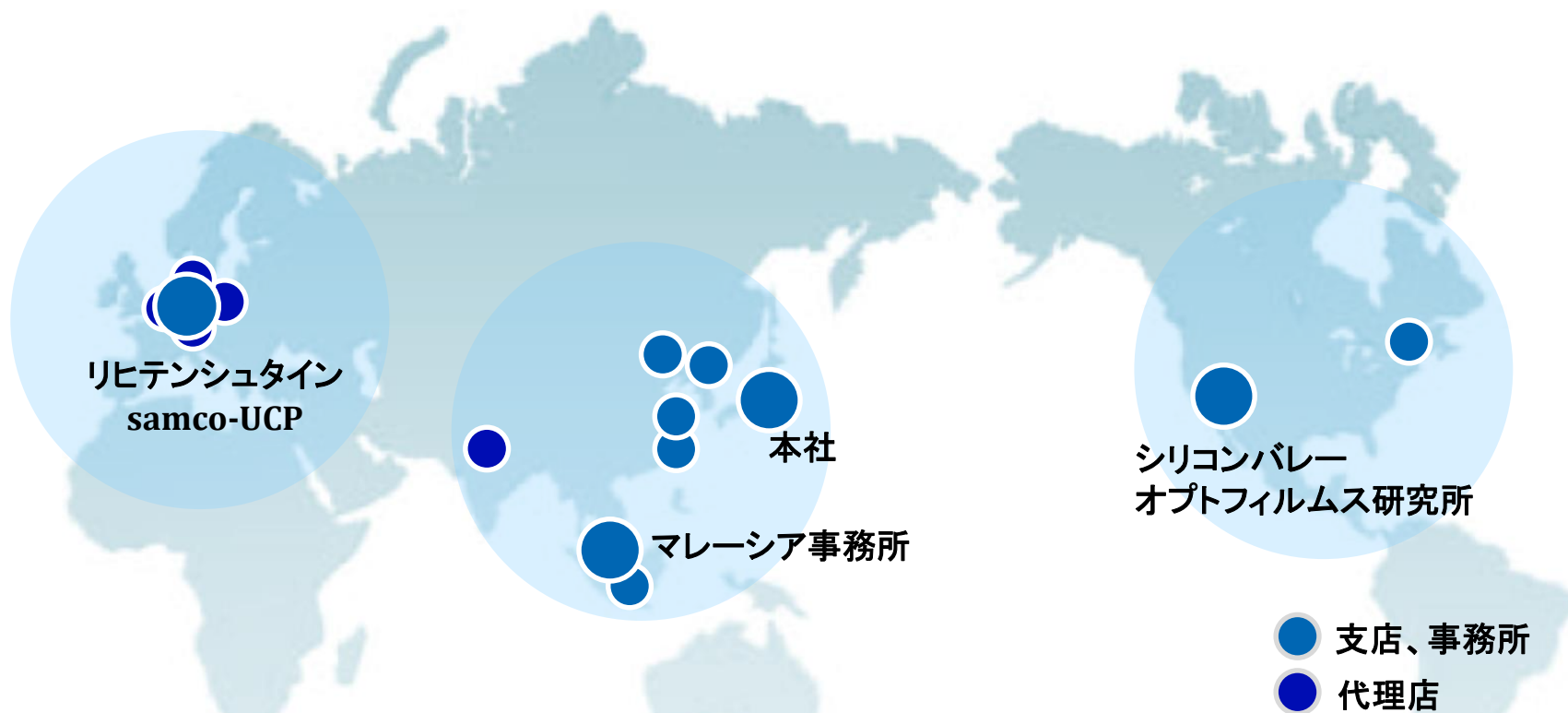
- ◆マイクロ流路チップの接合技術の確立及び流路加工技術開発とビジネス化
- ◆滅菌器販売の事業化～装置完成と1号機の販売
- ◆MEMSセンサのヘルスケア分野への展開

III 人を育てる体制の確立

- ◆体系だった人事教育の実施
- ◆人事評価制度の整備

IV 製品品質の向上、標準化・コストダウンの推進

グローバルニッチ市場のリーディングカンパニー



- 2014年 リヒテンシュタインの洗浄装置メーカーUCP社を買収
- 2016年 マレーシア事務所開設
- 2017年 シリコンバレーのオプトフィルムス研究所が設立30周年
- 2018年 オプトフィルムス研究所をサニーバールからサンタクララに移転
- 海外売上高比率を2018年7月期の41%から2021年7月期に50%以上へ

アジア市場 取り組み・現況

中国

- 2018年 9月、企業にVCSEL向けエッチング装置を販売。
- 2018年 8月、中国科学院において半導体レーザをテーマに薄膜術術セミナーを開催。
- 2018年 8月、企業からマイクロLED向けエッチング装置の大口受注。
- 2018年 5月、企業にLD向けCVD装置、エッチング装置を販売。

台湾

- 2018年12月、大学にSiCパワーデバイス向けエッチング装置を販売。
- 2018年 4月、研究機関にGaN HEMT向けエッチング装置を販売。
- 2017年12月、研究機関にマイクロLED向けエッチング装置を販売。

アジア市場 取り組み・現況

韓国

- 2018年12月、企業から車載用赤外線センサ向けCVD装置、エッチング装置の受注。
- 2018年 7月、10月、企業と研究機関に車載用SiCパワーデバイス向けエッチング装置を販売。
- 2017年10月、企業に欠陥解析向け大型エッチング装置を販売。

シンガポール

- 2018年 1月、3月、4月、企業に高周波フィルタ向けエッチング装置を販売。

インド

- 2018年 8月、研究機関からMEMS向けエッチング装置の受注。
- 2017年 3月、インド工科大学デリー校 (IIT Delhi) においてMEMSをテーマに薄膜技術セミナーを開催。

北米欧州市場 取り組み・現況

北米

- 2019年 1月、企業に電子部品向けエッチング装置を販売。
- 2018年 8月、企業にLD向けエッチング装置を販売。
- 2018年 7月、企業にプリンターヘッド向けエッチング装置を販売。
- 2018年 7月、大学にTSV向けエッチング装置を販売。

欧州

- 2019年 1月、企業に車載用センサ向けエッチング装置を販売。
- 2018年 6月、大学にセンサ向けCVD装置、エッチング装置を販売。

重点分野

① 電子部品分野

- FBAR等スマホ用高周波フィルタ、薄膜コンデンサ用途。
- 加速度センサ、超音波センサ等車載用各種センサ用途。
- 次世代パワーデバイス向けゲート酸化膜形成用ALD装置を拡販。

② オプトデバイス分野

- データセンター用などVCSELを含む通信用LD用途。
- 車載用高輝度LED・LD、ディスプレイ用マイクロLED用途。

③ 洗浄・表面処理分野

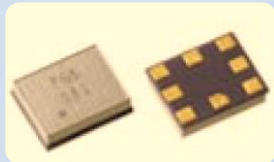
- 新製品 アクアプラズマ“AQ-2000”の拡販。
- 大型樹脂基板用洗浄装置の拡販。

重点分野

①電子部品分野

～高周波フィルター・MEMS・パワーデバイスなどの加工～

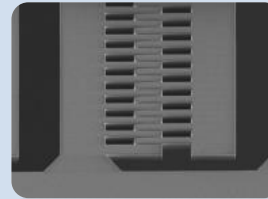
FBAR



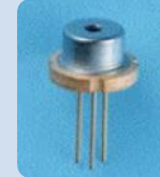
SAWフィルタ



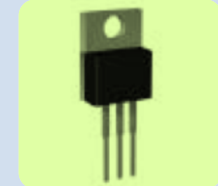
マイクロマシン



センサ



パワーデバイス



アプリケーション

スマートフォン



プリンター



車載用各種機器



新幹線

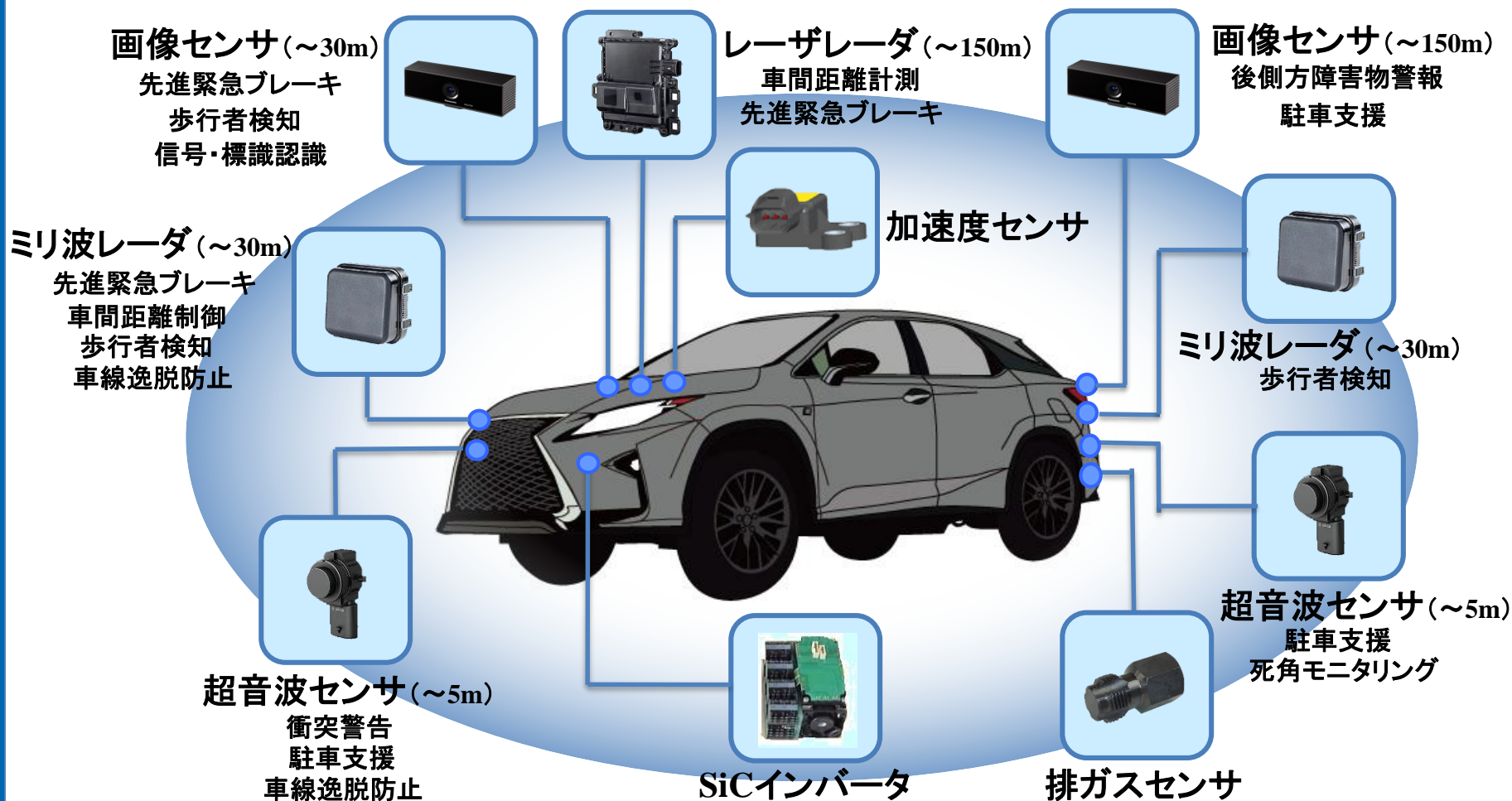


発電システム



①電子部品分野

車載用電子部品



①電子部品分野

SiCパワーデバイス向け装置

SiC(炭化ケイ素)パワーデバイスは、自動車や鉄道、産業機器向けなどで需要が拡大している。



ICPエッチング装置
RIE-800iP



原子層堆積装置
AD-230LP



プラズマCVD装置
PD-270STL



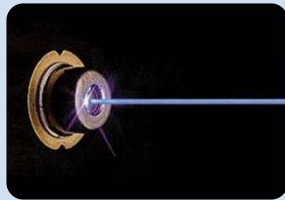
UVオゾン洗浄装置
UV-300HC

重点分野

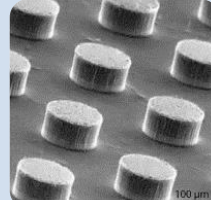
②オプトデバイス分野

～ LD・LED・マイクロLED・光学レンズなどの加工～

LD
(半導体レーザ)



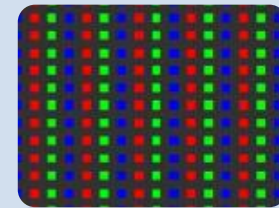
VCSEL
(面発光レーザ)



LED
(発光ダイオード)



マイクロLED



アプリケーション

データセンター



3D顔認証



LiDAR



自動車
ヘッドランプ・バックランプ



マイクロLEDディスプレイ



②オプトデバイス分野

VCSELのアプリケーション

3Dセンシング(顔認証、ジェスチャー認識)



レーザープリンター

光電子機器



光センシング



光ストレージ



短距離データ通信



VCSEL Photonics

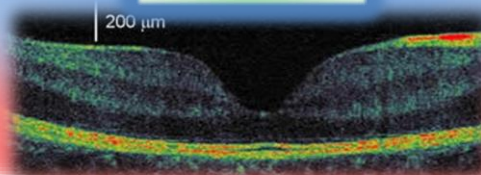
高輝度光源



暗視照明・分析用
ディスプレイ



医療



OCT(網膜のイメージ)
網膜および角膜スキャナー

光通信・光並列処理

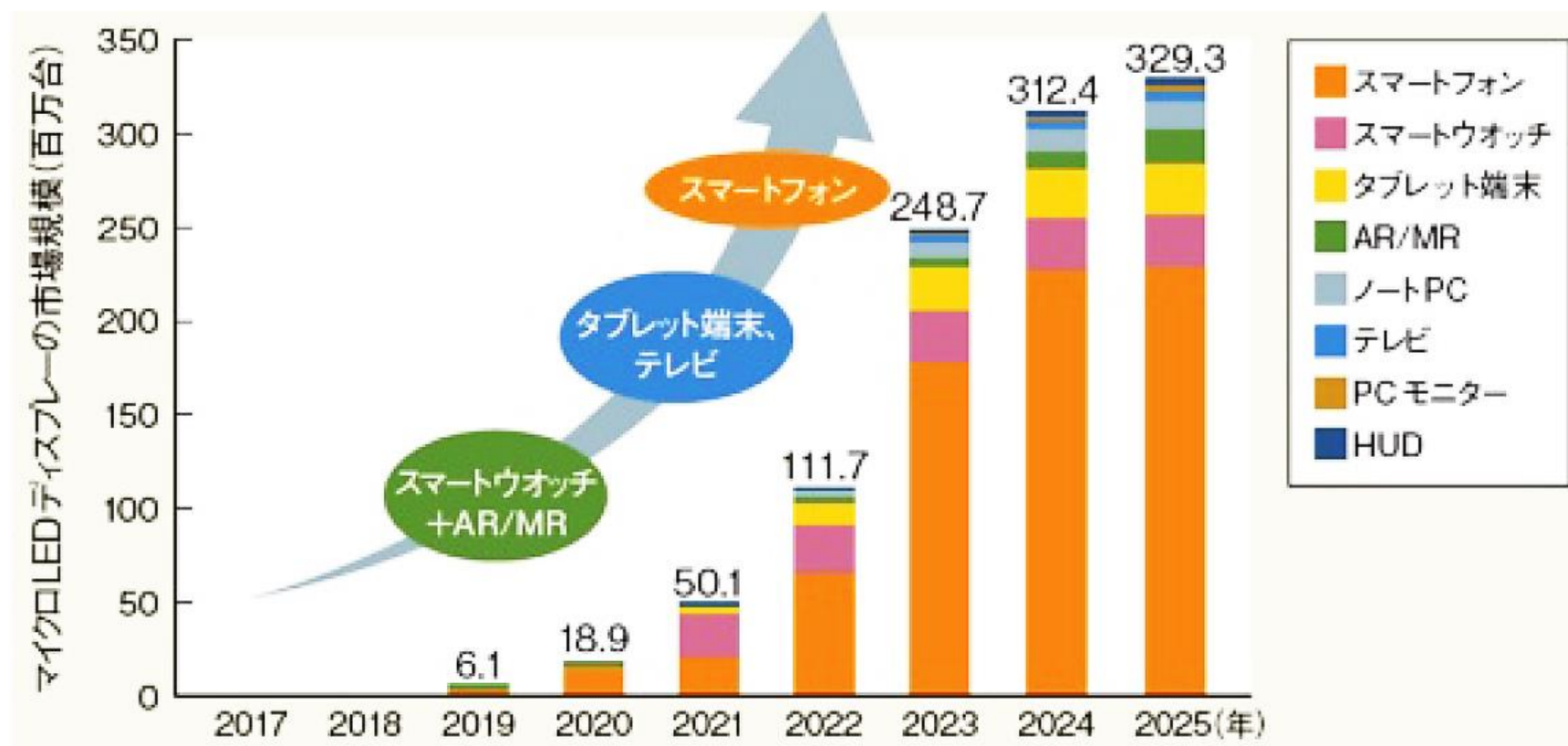


スパコン、データセンター内の
光インターコネクト

NEDO省エネルギー技術フォーラム 2014 参考

②オプトデバイス分野

マイクロLEDディスプレイの市場規模



出典: Yole Développement

日経エレクトロニクス、マイクロLEDがディスプレイ革新、「モノリシック化」で課題解消

本資料の著作権その他の一切の権利は、サムコ 株式会社に属しております。

複製、転送、第三者への配布等を行わないようお願い申し上げます。

②オプトデバイス分野

新製品

次世代ICPエッチング装置 “RIE-200iPN”

1997年に販売を開始し、数百台の納入実績を誇る『RIE-200iP』の後継機として開発。コンセプトである「汎用性」、「拡張性」、「コンパクト」をさらに発展させている。マイクロLEDやLD、GaNパワーデバイスなどの化合物半導体プロセスや難エッチング材料加工、シリコンナノプロセスでの研究開発からセミ量産に対応。



重点分野

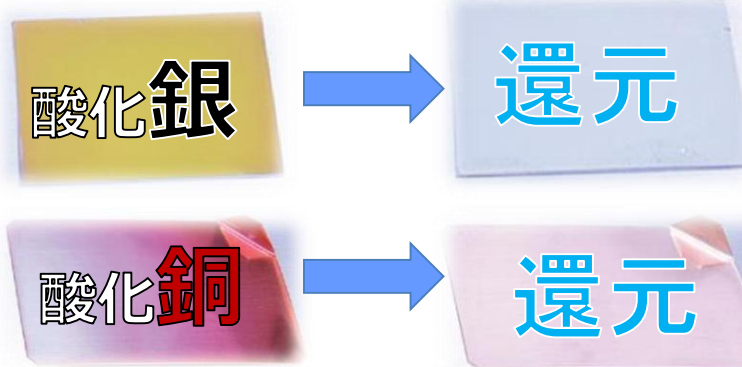
③洗浄・表面処理分野

アクアプラズマ“AQ-2000”の拡販

還元^①に、接合^②に、水^③が効く。
画期的プラズマ処理技術。



酸化金属の外観変化



水蒸気 (H₂O) を原料に
金属酸化膜の還元、有
機汚れの洗浄、樹脂接
合、超親水化などの表
面処理を、安全で環境
に優しく行うことが可能。

電子デバイス分野でのCOPの接着剤レス接合にも有効。

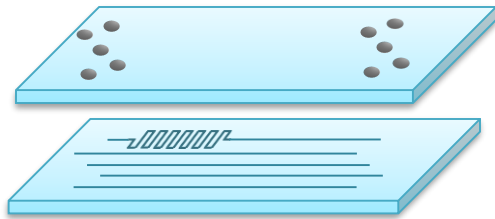
19/7月期 分野別売上高 見込

(単位:百万円)

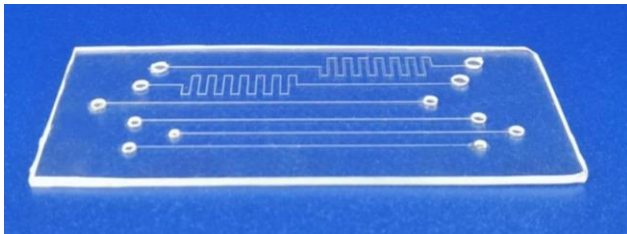
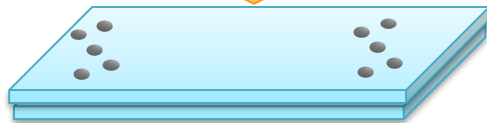
		18/7月期実績 売上高	19/7月期見込		前期比 増減率
			売上高	構成比	
オプトエレクトロニクス 分野	LD	1,501	974	17.7%	△ 35.1%
	LED	86	209	3.8%	143.6%
	マイクロLED	40	275	5.0%	587.5%
	センサ	32	83	1.5%	154.3%
	レンズ	83	—	0.0%	—
	その他	162	267	4.9%	64.4%
	計	1,906	1,810	32.9%	△ 5.0%
電子部品・MEMS 分野	高周波フィルタ	869	267	4.9%	△ 69.3%
	高周波デバイス	183	131	2.4%	△ 28.6%
	プリンターヘッド	280	34	0.6%	△ 87.7%
	センサ	146	417	7.6%	184.0%
	パワーデバイス	162	507	9.2%	211.9%
	その他	183	402	7.3%	119.7%
	計	1,826	1,760	32.0%	△ 3.6%
シリコン分野		452	430	7.8%	△ 5.0%
実装・表面処理分野		455	220	4.0%	△ 51.7%
表示デバイス分野		—	—	0.0%	—
その他分野		97	380	6.9%	291.1%
部品・メンテナンス		728	900	16.4%	23.6%
合 計		5,466	5,500	100.0%	0.6%

新規事業(ヘルスケア事業)

協業によるアクアプラズマの拡販へ



接着剤レス・常温で接合



～マイクロ流体チップへの応用～

COP(シクロオレフィンポリマー)、ガラス、PDMS(ポリジメチルシロキサン)などの常温での接合に最適

材料の常温接合可否			
	COP	ガラス	PDMS
COP	○	○	○
ガラス	○	—	○
PDMS	○	○	○

第24回半導体・オブ・ザ・イヤー2018 受賞

新規事業(ヘルスケア事業)

医療器具向けにアクアプラズマを応用したドライ滅菌装置を投入の予定。QMS(Quality Management System)省令承認申請準備中。



対象

カテーテル、内視鏡、手術用医療器具など

過酸化水素プラズマの問題点

- ・ 過酸化水素の強い腐食性
- ・ ガスの浸透性が弱く、内腔構造物の滅菌が困難
- ・ 高コスト

アクアプラズマ

- ・ 水蒸気を原料としており安全
- ・ 内腔構造物の滅菌が可能
- ・ 低コスト

お問い合わせ

サムコ 株式会社

広報・IR室

電話 : 075-621-7841

E-mail : koho@samco.co.jp

URL : www.samco.co.jp



薄膜技術で世界の産業科学に貢献する

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。